事業所名	つなぐ研究学園教室	支援プログラム（放課後等デイサービス）	作成日	2025 年	3 月	31 日

法人（事業所）理念		学習×運動×遊びを通じて楽しく「成長＆自立」を支援し、生きる力を身につけていきます。
支援方針		1．個別支援の徹底 ・5領域のもと一人ひとりの発達状況、特性、家庭環境に応じた個別支援計画を作成し、それに基づいて支援を行う。 2．自己肯定感と社会性の育成 ・「できた！」という体験を積み重ねられるようスモールステップで支援を行い、自己肯定感を育む。 ・集団活動や他者との関りを通じて、社会的スキルや協調性を身に付ける機会を提供する。 3．保護者との連携 ・保護者の思いや意見を尊重し、コミュニケーションを図り、ご家庭でのサポートの共有を含め一体となって支援する体制を構築する。 4．安心・安全な環境の提供 ・安心して過ごせるよう、物理的、心理的に安全な環境を整備する。 ・職員の研修実施や安全管理の徹底などリスク管理を重視する。
営業時間		10 時 0 分から 18 時 0 分まで　　送迎実施の有無　　（あり） なし
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	・学校引き受け時に学校での様子の確認を行います。 ・来所時に健康観察を行います。顔色等の変化を観察して異変などあった時にはすぐに対応していっています。 ・準備は決められたルールで正しく行えるようにしています。持ち物の自己管理も出来るよう促しています。 ・身支度を自ら整えられるようにしています。 ・靴のかかとを踏まないで履くことを意識させています。
	運動・感覚	・自分で考え決められた範囲でその動作を行えるよう、動きをコントロールできるようにしています。 ・リズム活動を取り入れ、音楽に合わせて動けるようにしています。 ・人や物との距離感を把握したり、考えたりして、自分で判断して動けるようにしています。 ・ヨガのポーズを取り入れ体幹力やバランス感覚を身につけられるようにしています。 ・身体の使い方が養えるよう毎月プログラムを考えています。
	認知・行動	・学習時間や日課、運動など一日の流れを作り、時間を意識しながら活動します。 ・認知機能の発達や行動のコントロールが出来るように課題の中に取り入れ行っています。 ・避難訓練や命を守る行動を身につけていきます。
	言語 コミュニケーション	・子どもたち同士で関われる機会が増えるように指導員が橋渡しを行います。 ・気持ちを伝えることが難しい児童への配慮（絵カードや指差し、筆談等をコミュニケーション手段を活用して環境の理解や意思の伝達を支援していきます） ・日課の課題で視写（書き写す、板書の練習）や聞き取り（聞いて処理する力短い情報を記憶する力）を養っていきます。
	人間関係 社会性	・集団や個別を通して様々な人との関わる機会を増やします。 ・社会に出た時に必要な最低限の関わりを持てるように、活動の中に話し合いの場を設け、他児童と協力して活動することを行っています。 ・イベントを通し公共機関を利用したり、地域の人と触れ合う機会を設けていっています。

家族支援	・保護者面談　・保護者参観　・関係機関との連携　・親子運動会 ・ご家族様が安心して子育て出来るようその状況に応じて相談や情報共有を行っています。	移行支援	・他事業所との情報共有 ・相談支援事業所との情報共有
地域支援・地域連携	・各関係各位との連絡事項の共有やケース会議等の連携 ・市内及び市外福祉事業所等との連係 ・研修会への参加等	職員の質の向上	・採用時職員研修（OJT） ・外部研修会参加 ・専門職による研修会
主な行事等	・各季節イベント行事　・体育館での集団運動　・公園にて運動　・フリーマーケット　・公共の場へのお出かけ　・公共機関使いお出かけ　・食育　・研究所めぐり ・各種体験　・工場見学等　・事業所内外での農業体験		